

自治体経営力向上

～一人ひとりの意識改革～

○講座のねらい

自治体の様々な課題に対応するため、一人ひとりの職員が行政サービスの向上等を意識しながら業務に取り組む必要がある。

このため、様々な課題に自治体職員自身がどう向き合っていくか、行政経営のあり方を学ぶとともに、リーダーとなる人材育成につながるよう職員の意識向上を図る。

○対象者

主査以上の職員

○日程

令和3年 8月17日(火)～18日(水) 2日間

○会場

自治研修センター(午前9時30分までに集合)

○予定人員

50名

○カリキュラム

	午前	午後
1 日 目	(9:40～10:00) ・オリエンテーション (10:00～12:00) ・地方自治体を取り巻く環境変化 ・置かれている環境の変化を考える ・リーダーに求められる役割	(13:00～16:30) ・変革を実践するために ～まずは業務改善 ・外部環境の変化により変革が起きた事例 を考える ・今後の自分の業務の変革を予測する
2 日 目	(9:40～12:00) ・変革リーダーのリーダーシップ ・後輩育成～人材を活かす	(13:00～16:00) ・日常生活指導のテクニック ・リスク管理 ・まとめ (16:00～) ・閉講

○講師

(株)インソース
大坪浩民



【令和2年度受講生のアンケートから】

- リーダーとして持つべき役割を再認識し、環境の変化や求められるものを学びたいと思いを講した。
- 組織のメンバーと危機意識を数字で共有することや、課題の表面的解決ではなく、その原因を探ることが重要であると感じた。
- 「70点主義」で中間報告をもらうことで、コミュニケーションが高まり、成功サイクルが生まれることを学んだ。次のステップへ進む意識の向上が図られると思う。